

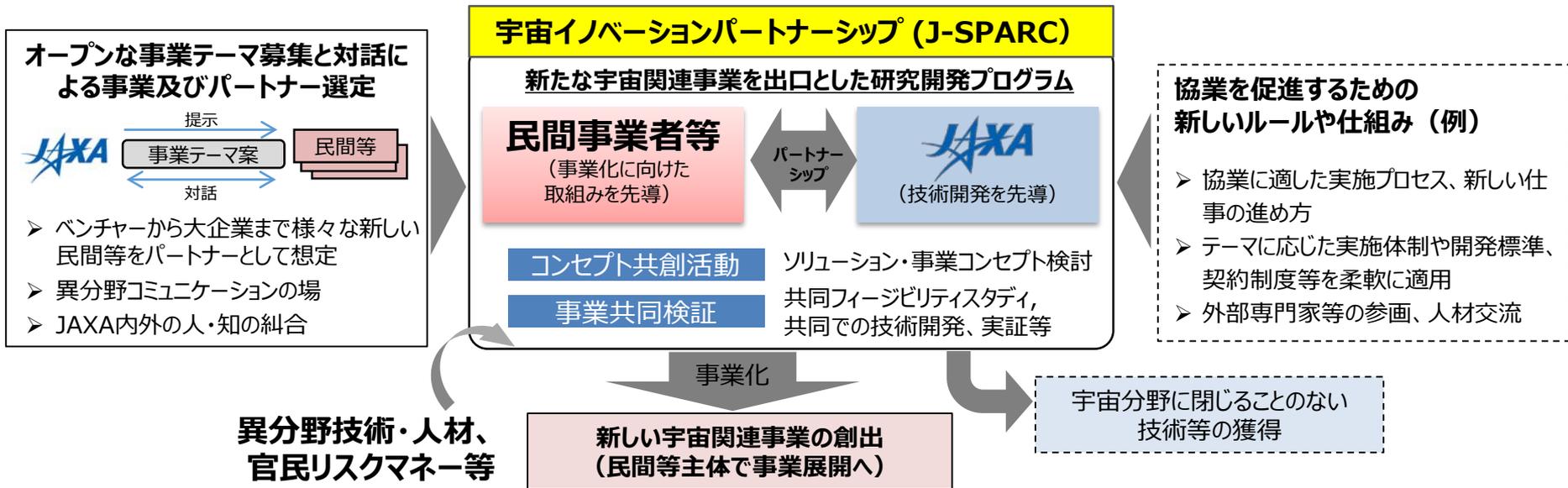
新たな事業を共創する研究開発プログラム
「宇宙イノベーションパートナーシップ（J-SPARC）」について

2018(平成30)年5月23日
宇宙航空研究開発機構
新事業促進部
松浦 直人

宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC※)

※J-SPARC : JAXA Space innovation through PARtnership and Co-creation

- 民間事業者等を主体とする事業を出口とした、技術開発・技術実証等を伴うパートナーシップ型の協業プログラム
- 民間等とJAXAがそれぞれの強み・リソース持ち寄り、新たな宇宙関連事業の創出へ
- 異分野融合等によるオープンイノベーションの取組みにより、宇宙分野に閉じることのない技術革新の実現へ



目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ベンチャーから大企業まで様々な新しい民間等の宇宙分野への参入 ➤ グローバル市場や異分野市場において競争力を持つ新しい宇宙関連事業の創出 ➤ 宇宙分野に閉じることのない技術等の獲得、イノベーション創出
--------------	--

[参考] 宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ (4. 宇宙ベンチャーとJAXA等との人材交流を含めた技術協力)

宇宙ベンチャー企業とJAXA等との出向等による人材交流を促進するとともに、事業化までをスコープとしたJAXAと民間企業とのパートナーシップ型の技術開発・実証を行う。

J-SPARCで取り組む主な事業テーマ

「人間の活動領域を広げるテーマ」や「地上の社会課題を解決するテーマ」、さらには個人向け(BtoC)サービスに代表される「宇宙を楽しむテーマ」まで、民間事業者等との対話を通じて、具体的な事業テーマを決定する。

人間の活動領域を広げるテーマ群

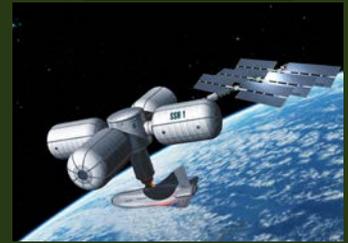
軌道上サービス



月・惑星探査



宇宙旅行



遠隔存在技術



宇宙を楽しむテーマ群

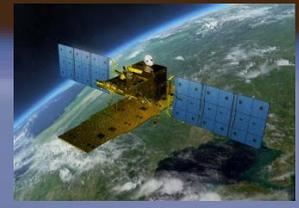
衣食住



コンテンツ・AR/VR

地上の社会課題を解決するテーマ群

リモセン・通信・測位



宇宙輸送

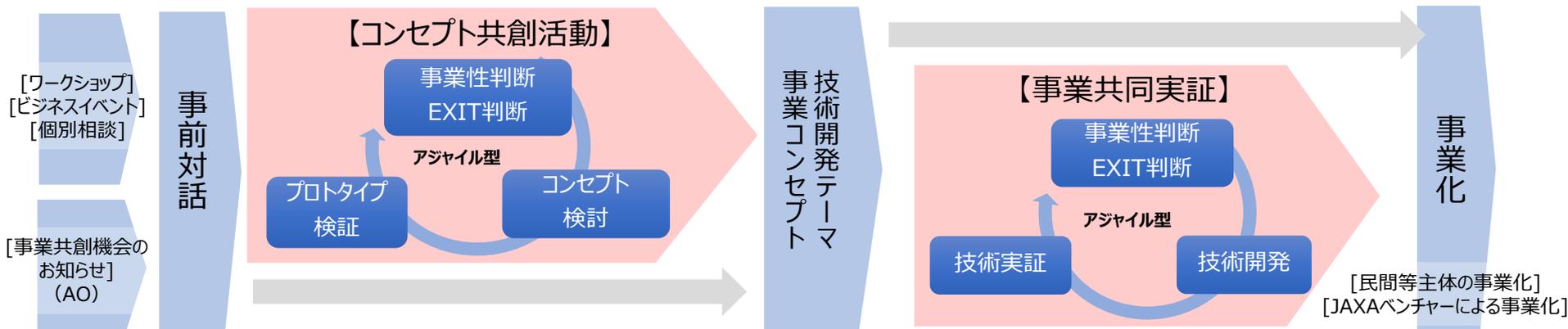


ビッグデータ/AI/IoT

J-SPARCの実施プロセスと主なプログラム要領

[J-SPARCの実施プロセス]

各事業の特性、規模、技術開発要素等を踏まえ、適切な連携体制を構築するとともに、実施プロセスを柔軟に設定し、事業化を出口とした取組みを推進する。



▲秘密保持契約（NDA）締結（必要に応じて）

▲パートナーシップに係る取り決め

▲連携体制の構築（共同チーム結成、企画組織設立など）

▲パートナーシップに係る取り決め

▲連携体制の構築（ベンチャー設立など）

▲事業主体者による資金調達（リスクマネー等）

[プログラム要領の概要]

想定する パートナー	事業化意思のある民間企業やアントレプレナー、技術シーズを持つ大学、研究機関、等
参加方法	①ワークショップやビジネス関連イベント等を通じたオープンな対話や個別相談（通年） ②個別事業テーマ毎の「事業共創機会のお知らせ（AO：Announcement of Opportunity）」への参加表明
JAXAの 主な役割	宇宙機や宇宙環境の利用機会に加え、これまで培ってきた技術力、経験、多様な国内外ネットワーク等を総動員した技術開発・実証の先導 (役割分担に基づく技術開発・技術実証、エンジニア・研究者等の人的リソースや宇宙機・設備・データ等のアセット提供)

第4期中長期目標におけるJAXAの「4つの取組方針」

- (1) 安全保障の確保及び安全・安心な社会の実現
- (2) 宇宙利用拡大と産業振興
- (3) 宇宙科学・探査分野における世界最高水準の成果創出及び国際的プレゼンスの維持・向上
- (4) 航空産業の振興・国際競争力強化

◆第4期中長期目標（J-SPARC関連項目抜粋）

4. 宇宙政策の目標達成に向けた分野横断的な研究開発等の取組
4. 1. 民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組

宇宙利用の拡大及び産業の振興の観点から、民間事業者等と適切な役割分担に基づいたパートナーシップを結び、協働で研究開発を推進するとともに、産業界の動向も踏まえて異分野の技術を融合したオープンイノベーションに係る取組を進め、民間資金等の活用を図りつつ、民間事業者を主体とする新たな宇宙関連事業の創出、宇宙分野に閉じることのない技術革新を目指す。

また、JAXAの研究開発成果の社会還元を民間事業者等と連携しつつ積極的に推進することで、ベンチャービジネス等の新たな事業の創出を実現するとともに、宇宙産業を担う人材の育成にも貢献する。

これらの取組に資することも考慮し、戦略的に知的財産制度の柔軟かつ継続的な改善を行い、JAXAの知的財産がより一層活用されることを目指す。

さらに、金融機関等との連携やロケットの相乗りによる宇宙実証機会の提供、衛星データのアクセス性向上に資する施策の実施、民間事業者による宇宙ビジネスの創出や高付加価値化に資する各種支援等を通じ、広く産業の振興に貢献する。また、宇宙実証機会の提供等については、民間事業者等の事業としての自立化を目指す。